

【様式2】

京都市立銅駝美術工芸高等学校

令和4年3月作成

1 学校基本情報

学科・コース (学年定員)	美術工芸科 (90名)	全校生徒数	270名
住所等	京都市中京区土手町通竹屋町下る銚田町 542 電話：075-211-4984 FAX：075-211-8994 E-mail：douda@edu.city.kyoto.jp		
沿革	<p>明治13年 京都府画学校として開校（京都御苑内）</p> <p>明治34年 京都市立美術工芸学校と改称</p> <p>昭和24年 京都市立日吉ヶ丘高等学校美術課程となる</p> <p>昭和55年 京都市立銅駝美術工芸高等学校を設置</p> <p>令和5年 京都市立美術工芸高等学校として京都駅東部地域に新築移転予定</p>		
特徴的な授業・取組, 学びの環境・社会連携	<p>①多様な美術領域の学び（日本画, 洋画, 彫刻, 漆芸, 陶芸, 染織, デザイン, ファッションアート）</p> <p>②「美」を通じた横断的な学び(BIKO steAm)による柔軟に学び続けられる土台の構築(BIKO CAREER)</p> <p>③論理的思考力とコミュニケーション力をベースに培う, ものがたる力</p> <p>④地域をはじめとした, 京都の伝統文化や歴史的資産などの京都の強みを活かした学び</p> <p>⑤ICTを活用しながら生徒の主体性と個性を伸ばさせるとともに, ダイバーシティの感覚を身につける</p> <p>⑥美術を通して世代を超えた人をつなぐ, 文化芸術をベースとしたシチズンシップの育成</p>		
部活動・同好会等	バレーボール, バasketボール, フットサル, ワンダーフォーゲル, ダンス, 演劇, フォークソング, 映画研究, 全制作, 異文化研究, 園芸, 合唱 など		
進路状況【令和3年3月卒業生実績】	国公立大学(26%) 私立大学(39%) 私立短期大学(1%) 専門学校等(14%)		



2 本校のミッション, スクール・ポリシー

本校のミッション	<p>○「美をつくる」 京都の都市特性を活かした美術専門高校ならではの豊かな学びを実践し, 一人ひとりが創造性を発揮して美をつくる学校</p> <p>○「文化をつくる」 美術を通して身につけた力で, 新たな文化や価値を創造し, 次代を切り拓く青年を輩出し続け, 「文化芸術都市・京都」の発展に貢献する学校</p> <p>○「景色をつくる」 歴史と伝統を踏まながら, 時代の変化と教育ニーズに対応した先進的な教育を展開し, 全国の美術教育に新たな景色をつくる学校</p>
① 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>○柔軟に粘り強く挑戦し続けられる心を育み, 作品制作や言語表現を中心とした多様な表現活動や他者との関わりの中で, 新たな自分や価値を創造していく意欲と能力を有する。</p> <p>○美術分野の専門性や汎用的な力を活用し, 将来, 文化芸術の創造・発展に寄与し, 世界と対話的に関わっていく態度と能力を有する。</p>
② 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>○将来の予測困難な社会において, 「美」のもつ力, 役割, 可能性を深く幅広く学び, 生徒の持つ創造への意欲の高揚につながる取組を実践する。</p> <p>○京都の強みを活かした学校内外の様々なつながりの中での協働的な学びを実践する。</p> <p>○表現活動の基盤となる幅広い教養や他者に伝える力を培い, 創造的な発想力や思考力, 判断力を養うため, 教科・科目や専攻の境界を越えた横断的な学びを実践する。</p> <p>○個人の個性と可能性に丁寧に寄り添い, 自己目標の実現に向けた生徒の主体的な学びを支援する</p>
③ 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>○美術工芸に対する興味・関心と基礎的な資質・能力を有し, その資質・能力を伸ばそうとする生徒</p> <p>○自ら課題を見出し, 他者と協働しながら粘り強く解決しようとする生徒</p> <p>○将来, 本校での学習を通して培った力を発揮し, 様々な分野で社会に関わろうとする生徒</p>